

あやめ池通信

～やさしい笑顔があふれ、一人一人が輝く学校～

第 58 号

令和元年 6月 7日
奈良市立あやめ池小学校
文責 西 浦 克 博

いきいき わくわく 楽しい学校!

真夏を思わせるような暑い毎日が続きましたが、子どもたちは元気に学校生活を送っています。蛙股池周辺の木々は緑をいっそう輝かせ、校舎ではつばめが巣作りをし、子育てに励んでいます。一年で最も生命の力強さが感じられる季節となりました。



さて、新学期が始まって約二ヶ月が過ぎました。4月当初のあわただしさも消え、子どもたちは新しい環境にも慣れ、落ち着いた学校生活が送れるようになってきました。1学期も折り返しを迎え、さらに教育の中身の充実に向けて精一杯努力し『いきいき わくわく 楽しい学校』づくりを目指していきます。そのためにも、「①基礎・基本をしっかり身につけて、生きる力を育てていく。②子どもたち・保護者、そして地域の願いを受け止め、それに応えていく。」ことをしっかり取り組んでいきます。以前にもお話しましたが、小学校に学ぶ子どもたちには、成就感・達成感を味わわせ、新しいものを創り出す喜びを多く経験させることが必要です。そして、それらの取組が生涯にわたっての生きる力を身につけることにつながっていきます。どうぞ、引き続き本校教育の推進にご支援ご協力をよろしく願います。

見守り活動感謝の会

子どもたちの登下校の時間帯に合わせて地域のボランティアの皆様が安全の見守り活動を長年続けていただいています。暑さの厳しい日も、雨風の強い日も子どもたちのために、特に危険と思われる場所に立っていただいています。また、青色パトロールカーで校区内を巡回していただいております。学校として、何か感謝の気持ちをお伝えしたいと思



い、6月3日月曜日の全校朝礼にボランティアの皆さまをお招きし、学校の代表として5年生が作ってくれた感謝状をお渡ししました。その後子どもたちには、自分たちの命を守ってくださっている皆さんに進んであいさつをすることが、感謝の気持ちを伝えることになると子どもたちに伝えました。

楽しかった野外活動！『キャンプだ、ホイ！』

- ◇カレー作りの時に、私はごはん係なので準備ができたならもうすることがなかったけど、自分で考えて、カレー係を手伝ったり、つくえの上のものを片づけてふきんでふいたりしました。二日間の野外活動が終わった後は、すごく達成感がありました。これからも、野外活動と同じように、自分で考えて行動することをがんばりたいです。
- ◇野外活動に行く前は、自分たちで行動できななかったけど、野活に行くと、先生に言われる前に自分たちで考えて行動できるようになりました。反省は、先生に二度同じことを言われても気付かなかったことです。そして、たまに班で意見がぶつかったことです。
- ◇私は、一生懸命働けば言葉がでると思います。それは、悪口でも、ぐちでもない「言われてうれしい言葉」がたくさんです。友だちの食器を運んだら、「ありがとう」という言葉が出ます。すると、「ありがとう」という言葉がもっともっと聞きたくてもっとがんばれると思うのです。野外活動は、けんかもしたけど一生懸命働けたかなと思います。



【校長からの宿題】

いい加減に働けば【言い訳】が出る。中途半端に働けば【ぐち】が出る。しかし、一生懸命働けば【〇〇】が出る。さて、その〇〇とは？

◇子どもたちが二日間で見つけた答えは、

汗⑱・結果⑯・笑顔⑩・成果⑨・楽しさ⑧・つかれ④・達成感③・答え③・考え②
やる気②・やり直し・時間（ができる）・感謝・ごほうび・うれしい言葉・ねむたさ・
成長・せい（精）・思い出・知恵・反省・喜び・利益・もんく・元気・協力の心・
あせとあくびとなみだ・これまでの自分・足（一歩前にふみ出す）

それぞれの言葉は、一人一人の思いが込められていると思います。一生懸命考えてくれた子どもたちに感謝です。私は、何事も一生懸命やれば、必ず『プラスの言葉』が浮かんでくると思って毎日一生懸命働いています。5年生の子どもたちには、一生懸命がんばることが当たり前になってほしいと願っています。そして、今月末の世界遺産学習での子どもたちのがんばりを期待しています。